

# 平成30年度 うきは市子育てと教育を進める集い 青少年育成県民会議筑後北地区研修大会

うきは市の未来を担う子どもたちが、  
“心豊かで健やかに育つ”ことを  
私たちは心から願っています。

子どもたちを取り巻く環境の急激な変化の中、私たち大人が家庭、学校・地域・社会と連携し一体となって、子どもたちの健全育成に取り組むため、標記集いを開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。



◇日時 8月18日(土) 13時30分開会 (受付: 13時~)

◇会場 白壁ホール (吉井町 1001-4)

◇託児 無料 ※8月9日(木)までに電話で申し込みください。

◇内容

◆13時30分 開会行事

◆13時50分 弁論発表 6月開催の「青少年弁論大会」成績優秀者2名による発表

◆14時10分 講演 演題:『自炊力』を育むために

**講師** 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター  
准教授 比良松 道一 先生

1965年、福岡市生まれ。農学博士。福岡県農業総合試験場、九州大学附属農場、同大学院園芸学分野で、作物の品種改良や来歴解明に関する研究を行ってきた。2014年から社会問題の解決に貢献するプロフェッショナルリーダーを育成する「九州大学持続可能な社会のための決断科学センター」准教授。

2006年、研究室の女子学生を通じて知った子どもがつくる「弁当の日」に感化され、食育に目覚める。当時、保護者会長を務めていた宗像市立河東小学校学童保育で、すぐに「弁当の日」を実践。学童保育所の弁当の日として全国初の取組となった。共働き家庭や一人親家庭を中心とした現代の「共同の子育て」を充実する上で、弁当の日が大変有効な取組であることを実証した。現在、大学生から小学生、一般市民、子育て支援団体を対象とした食・環境・子育てに関する講義・講演・ワークショップは、年間60回を超える。九州大学で2013年より開講している「自炊塾」は、3か月半で大学生の人生を変えるほどの影響力を持つ教育として注目される。

◆15時40分 閉会行事

◇主催 うきは市青少年育成市民会議 福岡県青少年育成県民会議筑後北地区協議会

◇後援 うきは市、うきは市教育委員会

◇参加団体 自治協議会、保育協会、吉井幼稚園、小中学校長会、浮羽究真館高校、小中学校PTA、青少年補導員会、老人クラブ連合会、保護司会、民生委員・児童委員会、社会福祉協議会、体育協会、文化協会、うきは警察署

●申込み・問合せ 市教育委員会 生涯学習課社会教育係 TEL75-3343

